



平成22年 7月7日

病院向け診療費支払機を開発 ～ 業界初のカラーユニバーサルデザイン認証取得製品～

この度弊社は、新たに開発した病院向け診療費支払機において、業界では初めてとなるカラーユニバーサルデザイン認証を取得し、7月12日より販売を開始いたします。

これまで医療機関では、診察の順番待ちや、会計窓口での診療費支払いまでの待ち時間が長く、患者にとって負担となっておりましたが、近年ではコンピュータシステムの普及が進み、受付・診察順番呼出の自動化、診療費計算等のシステム化等の業務効率化が図られ、患者の利便性向上が進んでいます。

弊社は、平成 11 年に医療機関の会計窓口で代わり診療費の支払いを患者自身が現金あるいはクレジットカード・デビットカードで支払うことができる診療費支払機「FK-200」を開発、平成 14 年にカード専用決済端末機「PHD-10」を開発、さらに、平成 16 年には病院向け専用となる「FKS-10」を開発し、窓口業務の効率化と患者の利便性向上に役立つ製品を開発してまいりました。

一方、公共施設を初めとする建物・設備や、商品などにおいて、バリアフリーや、ユニバーサルデザインを採用する事例は増加しており、人の色覚の多様性にも配慮するカラーユニバーサルデザイン(以下、CUD)への取り組みも多方面で実施されつつあります。

「FHP-10」は、医療機関の会計窓口で代わり、診療費の支払いを患者自身が操作して現金あるいはクレジットカード・デビットカードで支払うことができる診療費支払機で、操作画面や操作を誘導するランプに、色覚の個人差に左右されることなく多くの方に見やすいように配慮した色を採用し、業界で初めて CUD 認証を取得しました。

本製品は、弊社で CUD 認証を受けた 2 番目の製品です。弊社は今後も、CUD 対応をはじめ、製品のユーザビリティ向上に取り組んでまいります。

尚、本製品は7月14日～16日に東京ビックサイトで開催される「国際モダンホスピタルショー 2010」の弊社ブースにて展示を予定しております。

【診療費支払機「FHP-10」の特長】

1. CUD 認証取得

「FHP-10」は、NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構により CUD 認証を初めて取得した診療費支払機です。色覚の個人差に左右されることなく、多くの方に見やすいように配慮した操作画面やフリッカーランプを採用しています。

公共施設を初めとする建物・設備や、商品などにおいて、バリアフリーや、ユニバーサルデザ

インを採用する事例は増加しており、人の色覚の多様性にも配慮する CUD への取り組みも多方面で実施されつつあります。

(画面の一例)



2. 銀行のキャッシュカード(デビットカード)・クレジットカードで支払可能

現金支払いに加えて、デビットカード・クレジットカード決済に対応。

弊社は独自の情報処理センター(GCAN センター)を備えており、決済センターへの接続手続きもスムーズです。

3. 会計窓口業務の削減、患者の会計待ち時間を緩和

「FHP-10」は、会計窓口担当者に代わって診療費精算を行い、窓口の業務量を削減します。また、規模に応じた台数を設置すれば、混雑を緩和し、待ち時間を短縮します。

4. 現金管理を厳正化

診療費の入金、計数、つり銭の払い出し時に人手を介さず現金を取り扱え、厳正な現金管理を実現できます。また、投入された診療費を計数後、収納部に収納する前に一旦留め置く“一時保留”機能で投入金額の照合ができることも、現金管理の厳正化に貢献します。さらに、釣り銭準備金の収納は、紙幣は入金口から計数装填、硬貨はカセットから装填ができます。回収時は現金に触れることなく紙幣・硬貨ともカセット回収ができます。

5. 診療費・入院費の支払受付時間延長にも対応

時間外診療や休日の診療費・入院費の支払いにも対応できるため、人件費をかけずにサービスを拡充できます。

6. 「呼出受信機回収機」との接続が可能

島津エス・ディー株式会社(代表取締役社長:加藤孝幸氏、本社:京都市中京区西ノ京徳大寺町1番地)開発の、診察を待つ患者に順番が来たことをブザーと振動で知らせる端末機、呼出受信機を回収する「呼出受信機回収機」とシステム接続が可能です。

呼出受信機を利用することで、患者は診察室の前で待つ必要がなく、待ち時間を有効に利用することができます。診療費支払機と「呼出受信機回収機」を連動させることで、医療機関は端末機の確実な回収を実施することができます。